

添付書類で当該経営改善資金計画書記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

様式第1号の1(第3条関係)

農業近代化資金、
災害資金、
経済変動・伝染病等対策資金
肥育素牛価格変動対策資金

経営改善資金計画書(個人)

- 農業協同組合
- 信用農業協同組合連合会
- 農林中央金庫 支店
- 銀行 店
- 株式会社商工組合中央金庫 支店
- 信用金庫 店
- 信用金庫連合会
- 信用協同組合 店
- 協同組合連合会 店
- 株式会社日本政策金融公庫 支店

御中

(注)農業経営相談所(農業経営に関する相談を受け付けるもので国の農業経営者サポート事業により設立されたもの)を利用しているもの又は青色申告を実施しているものは、この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のとおりと記載して、別途書類を添付する等の方法を取っても差し支えない。

なお、青色申告を実施しているものは、1~3並びに4(1)③及び(2)①以外の事項についてのみとする。

年 月 日

住所

氏名

印

1 計画期間 年度～ 年度

2 家族構成等

家族従事者(農業後継者は、備考欄に○印を記入)				
年齢	農業従事 日数	農外従事 日数	目標年の状況	備考
その他の家族(性別、年齢のみ)				
男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)				

常時雇用	人
------	---

臨時雇用	人
------	---

3 経営規模

田 (うち借地)	a (a)
畑 (うち借地)	a (a)
樹園地 (うち借地)	a (a)
採草放牧地 (うち借地)	a (a)
施設面積	棟 m ²
常時飼養家畜	種類 頭、羽

(添付書類)最近3か年の青色申告書、白色申告書、農協の組合員勘定、貸借対照表、損益計算書、所得(損失)計算明細書等

注1. 1回の借入希望額が700万円以下(青色申告を実施しているものは1,000万円以下)であり、かつ、直近期末の総借入残高(営農負債以外のものも含む既往借入金残高)が直近期(特別な事情がある場合は直近期の前期)の農業粗収入及び農外収入の金額の合計額以下となっている借入希望者については、4の(1)の③および4の(3)は省略することができる。ただし、今後5年間の間に本資金の借入れを予定している場合はこの限りでない。

注2. 災害資金及び経済変動・伝染病等対策資金については、注1の省略項目に加え、4の(2)の④についても記入は不要である。

4 経営改善の視点

(1) 直近の経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円、その他単位は適宜)

① 経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

税務申告書番号		直近年(年)
農業粗収入		0
共済加入の有無 有・無	経営規模 生産量	1
	売上高	
	経営規模 生産量	
	売上高	
収入保険の加入の有無 有・無		
作業受託収入		
その他()		3
農産物の棚卸高	期首	5
	期末	6
農業経営費		0
租税公課		8
種苗費		9
素畜費		10
肥料費		11
飼料費		12
農具費		13
農薬費・衛生費		14
諸材料費		15
修繕費		16
動力光熱費		17
作業用衣料費		18
農業共済掛金		19
減価償却費		20
荷作運賃手数料		21
雇人費		22
利子割引料		23
地代賃借料		24
土地改良費		25
その他	(生産原価)	26~30
	(販売費、一般管理費)	
農産物以外の棚卸高	期首	32
	期末	33
育成費用		34
農業所得		0
農外所得		
年金被贈等		
農家総所得		0
家計費		
租税公課		8以外
償還財源		
償還金(元本)		
差引余剰		
施設・機械等の設備投資		

→ 例:農業用生産手段の一時借料など

直近年(年)	
単収	
単価	
変動理由	
単収	
単価	
変動理由	
単収	
単価	
変動理由	

(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。

直近年の農家総所得A	千円
直近年の農業所得B	千円
B / A	%

→ 農業部分の固定資産税、自動車税(取得税、従量税を含む)、不動産取得税など

→

→

研修費、通信費など

→

農業粗収入-農業経営費

→

(事業収入、給与、受取小作料、受取利息等)-農外支出

→

年金、祝金等

→

農業所得+農外所得+年金被贈等

→

農家世帯員が生活を維持するために要した費用

→

税金(所得税、住民税)、社会保険負担(国民健康保険税)など

→

(1+3)-(8+9+...+30)+農外所得+年金被贈等+減価償却費-家計費-租税公課+資金調達

→

償還財源-償還金(元本)

→

1個または1組の取得価格が10万円以上のものであり、その使用可能年数が1年以上のもの(※平成元年4月~平成10年12月31日までは20万円以上)

例:①畜舎、温室などの建築物、②果樹棚、サイロや水路等の土地改良設備一切の構築物、③農機具・自動車、④養鶏ケージ、育苗箱等、⑤コンピュータ、FAX等

② 経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	算出基礎
資産計	0	
預金(共済等の積立金を含む)		
農協等に対する出資金		
土地		
建物		
家畜		
農機・その他		
負債計	0	
農業負債(短期)		
農業負債(長期)		
農外負債		
その他		
正味資産		
保証債務		

③ 経営上の課題はないか

(営農類型: _____)

項目	状況	特徴、問題・課題点(その改善策)など記入欄
技術レベル	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
単収	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
品質・単価	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
経営規模	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
コスト	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
販売方法	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
家計費	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
埋却等の準備 (※)	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
その他	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	

※畜産に含まれる営農類型の場合、飼養衛生管理基準において定められている埋却等の準備ができていないか否かなどについて記入してください。

※自然災害や価格動向の変動等(リスク)への備えに関する課題がある場合は、「その他」欄へ記入してください。

(2) 経営の改善を図るための事業内容

① 設備資金の使いみちと資金調達

実施年度	投資内容	規模・能力	数量	主食用米生産に供する農地、施設、機械に該当する場合は○(※)	事業費 【単位:千円】	新設・更新	資金調達計画	
							(自己資金、補助金、借入金等)	(借入金の場合、償還期間)
1						新設・更新		年
2						新設・更新		年
3						新設・更新		年
4						新設・更新		年
5						新設・更新		年
合計								

※目標年度までのすべての設備投資をご記入ください。(自己資金のみによる設備投資を含めてご記入ください。)

投資内容の欄について、農地等を取得する場合は、田、畑などの用途と、自作地・小作地の別をご記入ください。

※農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合は、記載すること。

② 運転資金などの主な使いみちと資金調達(研修、調査、研究開発費として必要な資金も本欄にご記入ください。)

運転資金の使いみちと算出基礎	必要時期	必要額 【単位:千円】	償還期間	備考
	月 日		年	
	月 日		年	
	月 日		年	

③ (農業経営基盤強化資金について)経営安定のための資金の使いみちと資金調達

資金の使いみちと必要額の算出根拠	必要時期	必要額 【単位:千円】	償還期間	備考
○負債の整理(※1)	年 月		年	
○資本構成の是正(※2)	年 月		年	
○その他	年 月		年	

※1 金利が高いとか、償還期間が短いといった理由により、現に経営の安定に支障をきたしている既往負債がある場合に、その負債を整理の対象にするものです。

2 本来は長期資金で対応すべきものを短期資金で対応したために悪化した流動比率を、長期資金への借換えによって是正するものです。

(参考)既往借入金の状況(農業経営以外の借入金も記載してください。)

(年 月 日現在)

借入先または資金名	主な資金の使いみち	借入年月	現在残高 【単位:千円】	利率	償還期限	据置期限	償還方法 (いずれかを○で囲んでください)
1		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
2		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
3		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
合 計							

④ 経営改善のための計画の算出基礎(該当する営農類型について記入してください。)

(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

(酪農)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
経産牛1頭当たり乳量	kg / 頭			濃厚飼料総給与量	t / kg		
乳価	円 / kg			濃厚飼料平均価格	円 / kg		
乳飼比	%			粗飼料総給与量	t / 年		
分娩間隔	日						

(肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1		
区分		単位	実績	目標	実績	目標
素牛	導入頭数	頭 / 年				
	導入月齢	か月				
	導入価格	千円 / 頭				
販売牛	販売月齢	か月				
	販売体重	kg / 頭				
	販売価格	千円 / 頭				
枝肉ランク		%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上
濃厚飼料総給与量		t / 年				
濃厚飼料平均価格		円 / kg				
粗飼料総給与量		t / 年				
分娩間隔		日				

(養豚)

区分		単位	実績		目標	
種豚の品種			♂	♀	♂	♀
母豚1頭当り年間産子数		頭 / 年				
出荷頭数		頭 / 年				
母豚平均分娩回数		回 / 年				
販売子豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
肥育豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
上物率		%				
肥育豚販売手数料		円 / 頭				
肥料総給与量		t				
飼料要求率						

(採卵鶏)

区分		単位	実績		目標	
鶏種			♂	♀	♂	♀
導入ヒナ	日令	日				
	価格	円 / 羽				
年間導入羽数		千羽				
育成率		%				
淘汰方法						
産卵期間		か月				
飼料総給与量		t				
飼料要求率						
G. P. 経費		円 / kg				

(ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種				育成率	%		
ヒナ購入価格	円 / 羽			出荷日令	日		
鶏舎延坪数	坪			出荷体重	kg / 羽		
坪当たり常時飼養羽数	羽 / 坪			飼料総給与量	t		
餌付回数	回 / 年			飼料要求率			
餌付羽数	千羽 / 年						

(3) 計画が実行された場合に収益はどうなるか、融資返済は可能か

		税務申告書番号	1年目	2年目	3年目	4年目	目標(5年目)				
農業粗収入			0	0	0	0	0				
	共済加入の有無	経営規模 生産量 売上高	1								
	有・無										
	共済加入の有無	経営規模 生産量 売上高									
	有・無										
	共済加入の有無	経営規模 生産量 売上高									
	有・無										
	共済加入の有無	経営規模 生産量 売上高									
	有・無										
作業受託収入											
その他()		3									
農産物の棚卸高	期首	5									
	期末	6									
農業経営費			0	0	0	0					
租税公課		8									
種苗費		9									
素畜費		10									
肥料費		11									
飼料費		12									
農具費		13									
農薬費・衛生費		14									
諸材料費		15									
修繕費		16									
動力光熱費		17									
作業用衣料費		18									
農業共済掛金		19									
減価償却費		20									
荷作運賃手数料		21									
雇人費		22									
利子割引料		23									
地代賃借料		24									
土地改良費		25									
その他	(生産原価)	26~30									
	(販売費、一般管理費)										
農産物以外の棚卸高	期首	32									
	期末	33									
育成費用		34									
農業所得			0	0	0	0					
農外所得											
年金被贈等											
農家総所得			0	0	0	0					
家計費											
租税公課		8以外									
償還財源											
償還金(元本)											
差引余剰											
施設・機械等の設備投資											
農業負債(短期)											
農業負債(長期)											
農外負債											
計											